

平成 29 年 6 月 14 日



各 位

株 式 会 社 FRONTEO

代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏

(コード番号：2158 東証マザーズ)

(NASDAQ ティッカーシンボル：FTEO)

問 合 せ 先 財 務 部 長 前 田 晃 洋

電 話 番 号 03-5463-6344

(訂正) 平成29年5月15日公表の
「2017年3月期通期連結業績説明会資料」の一部訂正について

本日公表の「(訂正・数値データ訂正) 修正後発事象の発生に伴う「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」に基づく訂正に伴い、平成29年5月15日に公表いたしました「2017年3月期通期連結業績説明会資料」について一部訂正がありましたのでお知らせいたします。

訂正があったページにつき、訂正前と訂正後の資料を表示して添付いたします。訂正がなかったページを含む訂正後の全説明資料は当社ウェブサイトに掲載しています(<http://www.fronteo.com/ir/ir-data/briefing.html>)。

尚、訂正の理由につきましては、本日公表の「(訂正・数値データ訂正) 修正後発事象の発生に伴う「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」をご参照ください。

以上

訂正前

2017年3月期 通期連結業績説明会 (抜粋)

株式会社FRONTEO

代表取締役社長

守本 正宏

2017.5.15



2017年3月期連結損益計算書

訂正前



(単位：百万円)	2016年3月期		2017年3月期					前年比	2017年3月期 通期予想
	Q4	年度合計	Q1	Q2	Q3	Q4	年度合計	増減	
売上高	2,953	10,553	2,792	2,444	3,011	3,245	11,494	941	11,800
売上原価	1,750	5,850	1,630	1,539	1,792	1,914	6,876	1,026	
売上総利益	1,202	4,702	1,162	905	1,219	1,331	4,618	-84	
売上比率	41%	45%	42%	37%	40%	41%	40%	-4%	
販売費及び一般管理費	1,265	4,631	1,338	1,402	1,372	1,434	5,547	916	
営業利益	-62	71	-176	-496	-153	-103	-929	-1,001	-850
売上比率	-2%	1%	-6%	-20%	-5%	-3%	-8%	-8%	-7%
営業外収益(-)・費用(+)(Net)	51	45	68	35	-125	57	35	-10	
経常利益	-114	25	-244	-532	-27	-160	-965	-990	-860
売上比率	-4%	0%	-9%	-22%	-1%	-5%	-8%	-8%	-7%
特別利益(-)・損失(+)	32	32	18	10	30	56	115	83	
法人税等合計	-54	182	-90	-199	349	-375	-315	-498	
非支配株主に帰属する当期純利益	1	5	1	1	3	0	6	0	
当期純利益	-93	-194	-174	-344	-411	158	-771	-577	-700
売上比率	-3%	-2%	-6%	-14%	-14%	5%	-7%	-4%	-6%

- 売上高 : FY2015Q2に買収したEvD, Inc.の売上が通期で反映されたことおよびAI事業の成長により前年比8%増
- 原価 : プロダクト・ミックスが変化し、前年比で原価率が上昇。リーガルビジネスにおけるReview関連費用の増加が影響した
- 販管費 : 監査費用の増加、EvD, Inc.、国内AI関連子会社の販管費が通期で反映されたことにより増加
- 利益 : 売上高は増加したが粗利率の低下、監査費用の増加等が影響し、営業利益は赤字へ転じた。

(日本基準)

2017年3月期連結貸借対照表

訂正前



(単位：百万円)	2016年3月期				2017年3月期				2016年3月比	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	増減	%
資産の部										
現預金	2,527	2,353	2,254	1,798	1,813	2,143	4,323	4,536	2,737	152%
売掛金	1,471	2,771	2,978	2,901	2,662	2,416	3,460	3,402	501	17%
その他流動資産	427	647	737	740	725	941	788	1,156	415	56%
流動比率	295%	93%	162%	155%	142%	190%	230%	243%		
有形固定資産	807	906	1,122	1,105	993	1,107	1,164	1,116	11	1%
ソフトウェア	876	882	842	888	905	919	898	910	21	2%
のれん、顧客関連資産	541	4,089	4,513	4,143	3,746	3,611	4,326	4,101	-41	-1%
その他固定資産	1,050	1,190	1,148	1,338	1,195	1,169	1,260	1,121	-216	-16%
固定比率	73%	163%	173%	172%	163%	177%	195%	146%		
資産合計	7,703	12,840	13,597	12,916	12,041	12,309	16,220	16,345	3,429	27%
負債・純資産の部										
流動負債	1,502	6,191	3,681	3,500	3,667	2,896	3,724	3,744	243	7%
固定負債	935	1,635	4,927	4,758	4,426	5,873	8,319	7,373	2,615	55%
純資産	5,265	5,014	4,988	4,657	3,947	3,539	4,176	5,227	570	12%
負債・純資産合計	7,703	12,840	13,597	12,916	12,041	12,309	16,220	16,345	3,429	27%

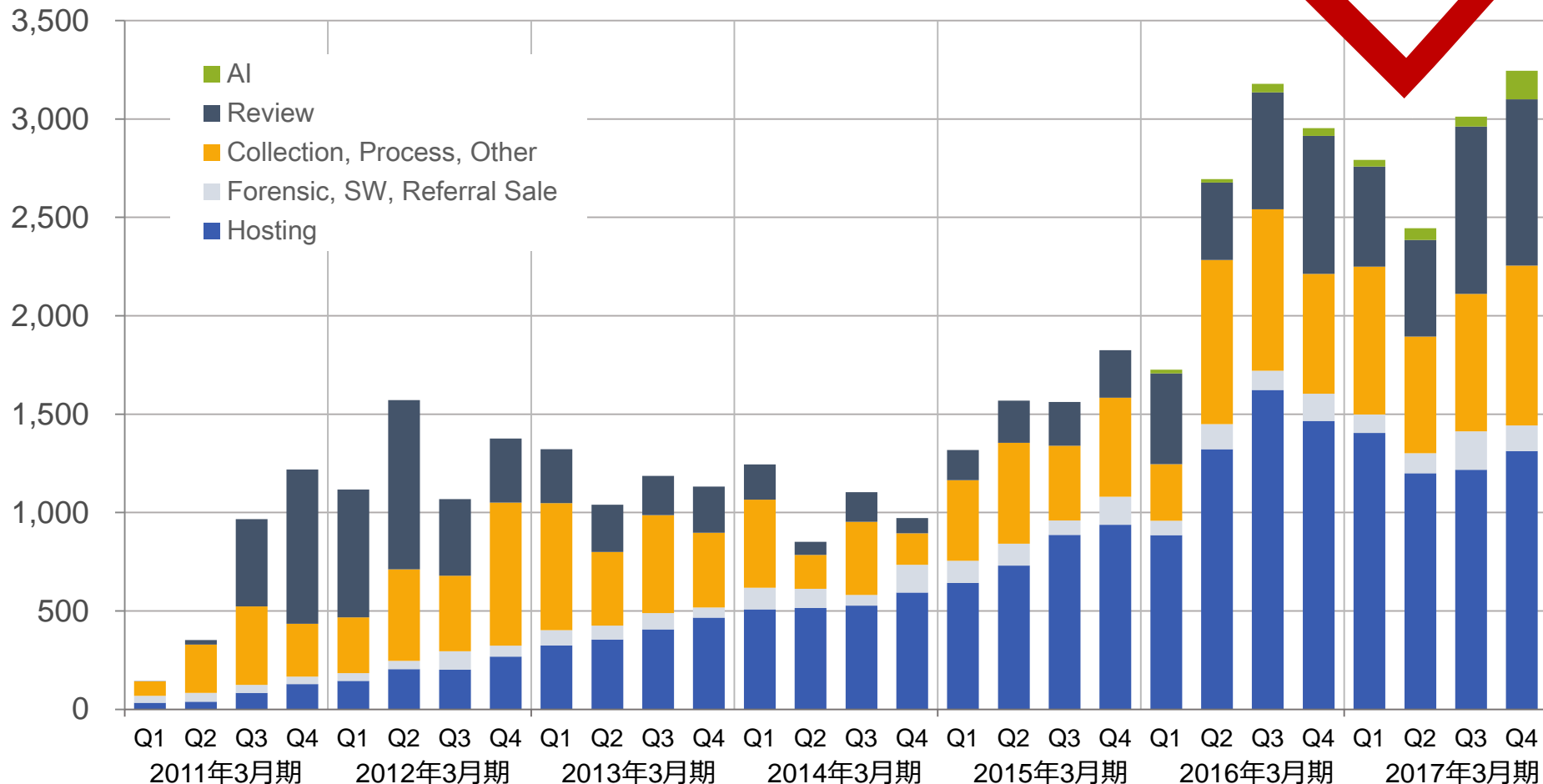
- 流動資産：Q3の転換社債発行による資金調達、Q4の米国における繰延税金資産の計上等により増加。
- 固定資産：Essential Discovery, Inc.の顧客関連資産及びのれん2.5億円がQ3に計上された一方、EvD, Inc.については償却が進み前年度末比ほぼ横這い。
- 固定負債：転換社債の発行により、前年度末比増加。2016年12月以降12.5億円が普通株式に転換され、減少に転じた。
- 純資産：転換社債の普通株式への転換により、自己資本が充実。

(日本基準)

大口顧客の売上減や米国の営業活動の減速により上半期は苦戦も

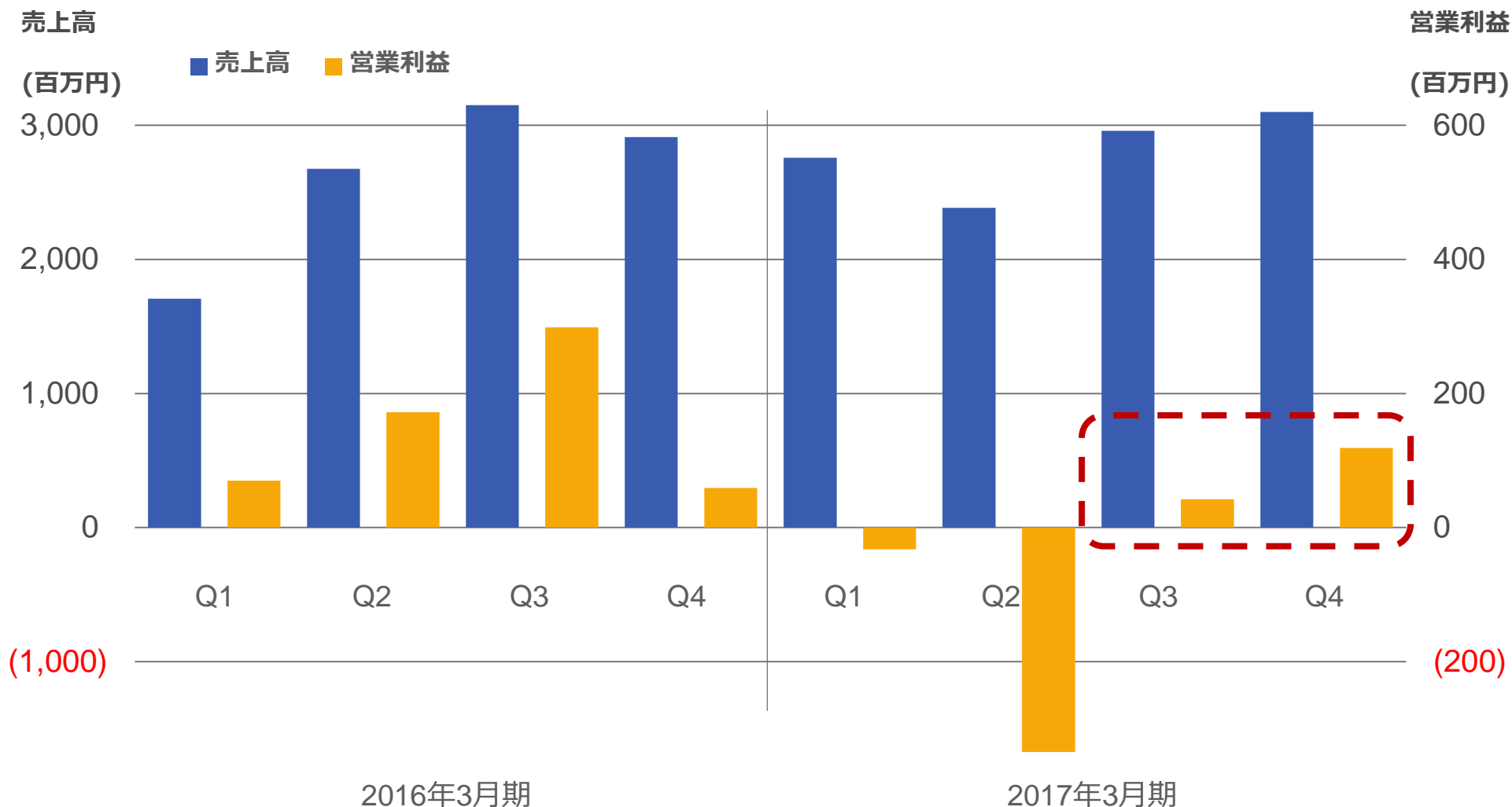
Q3から**V字回復**、Q4は四半期売上高で**過去最高額**を達成

(百万円)



(日本基準)

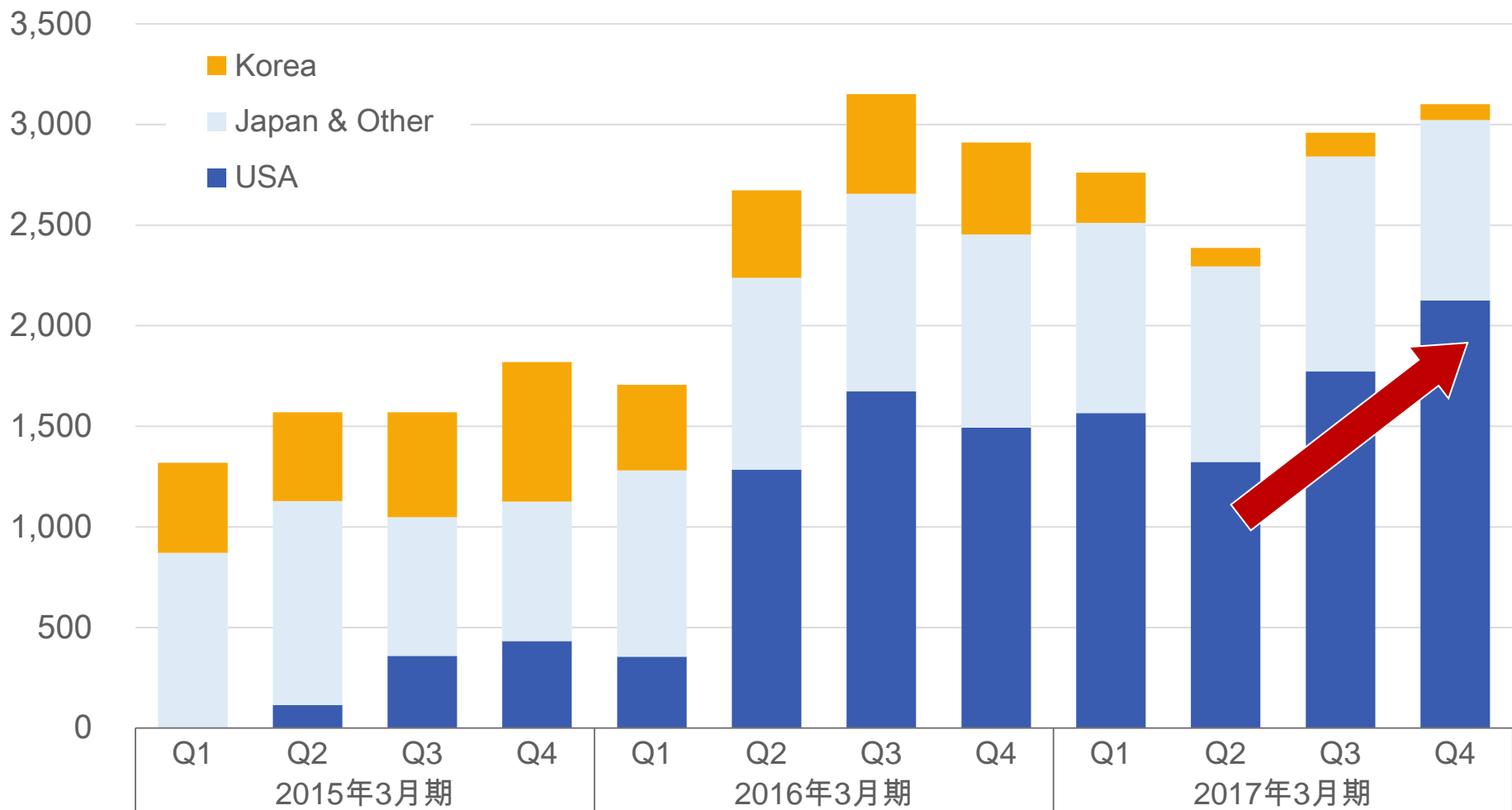
Q3から営業黒字に転換



※当社では今後のAI事業の拡大を考慮し、事業別の実態をより適切に表すことを目的として、2017年3月期第3四半期においてセグメントを見直しました。上記グラフは当該方法に基づき作成しております。

米国で**過去最高売上高**を更新

(百万円)

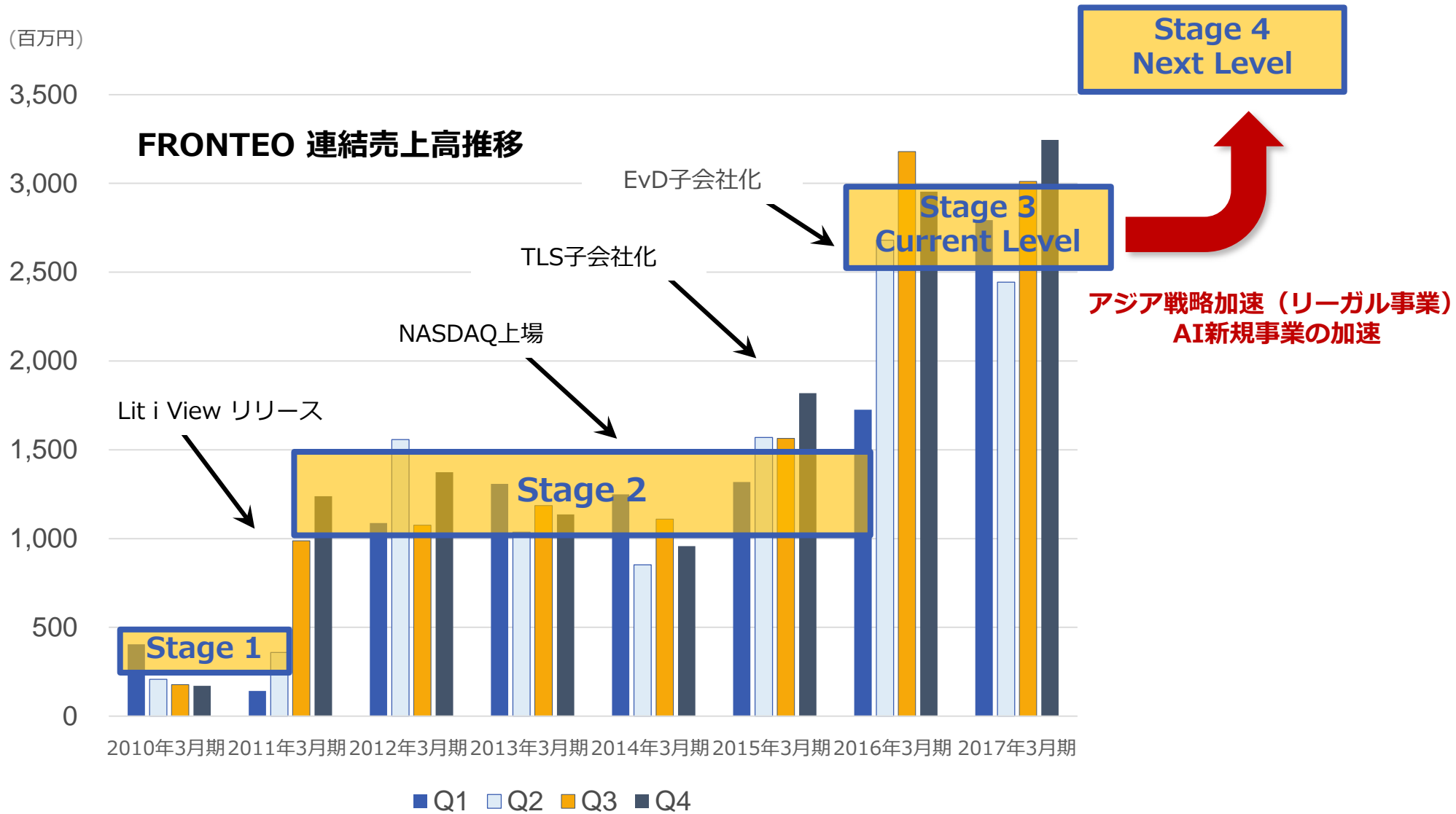


(単位：百万円)	2017年3月期	2018年3月期 ガイダンス
売上高	11,494	14,000
売上原価	6,876	
売上総利益	4,618	
売上比率	40%	
販売費及び一般管理費	5,547	
営業利益	-929	200
売上比率	-8%	1%
営業外収益(-)・費用(+)(Net)	35	
経常利益	-965	190
売上比率	-8%	1%
当期純利益	-771	90
売上比率	-7%	1%

リーガル事業：グローバル・クロスボーダー営業の充実に取り組むことで増収黒字化を計画

AI事業：ビジネスインテリジェンス・デジタルコミュニケーションの分野は、前年度に積み上げた導入事例を梃子に営業活動を加速させることで黒字化が望める段階に到達できる見込み
一方、ヘルスケア分野は、主として実証実験や臨床試験段階のプロジェクトが多く、利益を計上するまでには至らない見込み

配当予測：AIの事業基盤を盤石にし、さらなる成長を目指すため「配当見送り」とする予定





お問い合わせ先 株式会社FRONTEO
TEL: 03-5463-6337
Email: ir_info2014@fronteo.com

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。業界等における記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

訂正後

2017年3月期 通期連結業績説明会 (抜粋)

株式会社FRONTEO

代表取締役社長

守本 正宏

2017.6.14



2017年3月期連結損益計算書

訂正後



(単位：百万円)	2016年3月期		2017年3月期					前年比	2017年3月期 通期予想
	Q4	年度合計	Q1	Q2	Q3	Q4	年度合計	増減	
売上高	2,953	10,553	2,792	2,444	3,011	2,958	11,207	654	11,800
売上原価	1,750	5,850	1,630	1,539	1,792	1,911	6,873	1,023	
売上総利益	1,202	4,702	1,162	905	1,219	1,047	4,333	-368	
売上比率	41%	45%	42%	37%	40%	35%	39%	-5%	
販売費及び一般管理費	1,265	4,631	1,338	1,402	1,372	1,427	5,540	909	
営業利益	-62	71	-176	-496	-153	-380	-1,206	-1,278	-850
売上比率	-2%	1%	-6%	-20%	-5%	-13%	-11%	-11%	-7%
営業外収益(-)・費用(+)(Net)	51	45	68	35	-125	69	48	2	
経常利益	-114	25	-244	-532	-27	-450	-1,254	-1,280	-860
売上比率	-4%	0%	-9%	-22%	-1%	-15%	-11%	-11%	-7%
特別利益(-)・損失(+)	32	32	18	10	30	56	115	83	
法人税等合計	-54	182	-90	-199	349	-488	-429	-611	
非支配株主に帰属する当期純利益	1	5	1	1	3	0	6	0	
当期純利益	-93	-194	-174	-344	-411	-17	-948	-753	-700
売上比率	-3%	-2%	-6%	-14%	-14%	-1%	-8%	-6%	-6%

- 売上高 : FY2015Q2に買収したEvD, Inc.の売上が通期で反映されたことおよびAI事業の成長により前年比6%増
- 原価 : プロダクト・ミックスが変化し、前年比で原価率が上昇。リーガルビジネスにおけるReview関連費用の増加が影響した
- 販管費 : 監査費用の増加、EvD, Inc.、国内AI関連子会社の販管費が通期で反映されたことにより増加
- 利益 : 売上高は増加したが粗利率の低下、監査費用の増加等が影響し、営業利益は赤字へ転じた。

(日本基準)

2017年3月期連結貸借対照表

訂正後

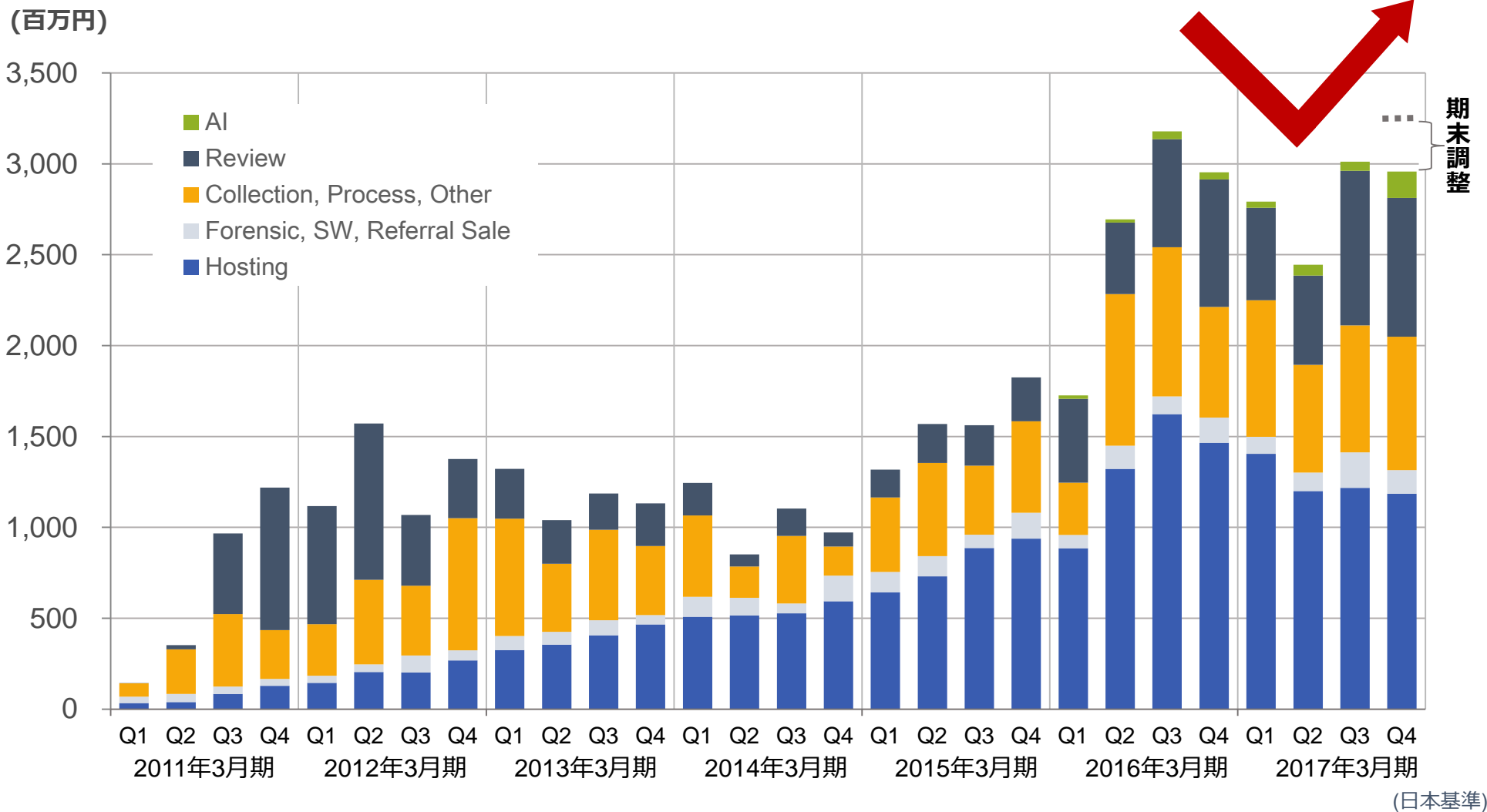


(単位：百万円)	2016年3月期				2017年3月期				2016年3月比	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	増減	%
資産の部										
現預金	2,527	2,353	2,254	1,798	1,813	2,143	4,323	4,536	2,737	152%
売掛金	1,471	2,771	2,978	2,901	2,662	2,416	3,460	3,319	418	14%
その他流動資産	427	647	737	740	725	941	788	1,177	437	59%
流動比率	295%	93%	162%	155%	142%	190%	230%	244%		
有形固定資産	807	906	1,122	1,105	993	1,107	1,164	1,176	71	6%
ソフトウェア	876	882	842	888	905	919	898	910	21	2%
のれん、顧客関連資産	541	4,089	4,513	4,143	3,746	3,611	4,326	3,914	-228	-6%
その他固定資産	1,050	1,190	1,148	1,338	1,195	1,169	1,260	1,122	-215	-16%
固定比率	73%	163%	173%	172%	163%	177%	195%	143%		
資産合計	7,703	12,840	13,597	12,916	12,041	12,309	16,220	16,158	3,242	25%
負債・純資産の部										
流動負債	1,502	6,191	3,681	3,500	3,667	2,896	3,724	3,696	196	6%
固定負債	935	1,635	4,927	4,758	4,426	5,873	8,319	7,443	2,684	56%
純資産	5,265	5,014	4,988	4,657	3,947	3,539	4,176	5,018	361	8%
負債・純資産合計	7,703	12,840	13,597	12,916	12,041	12,309	16,220	16,158	3,242	25%

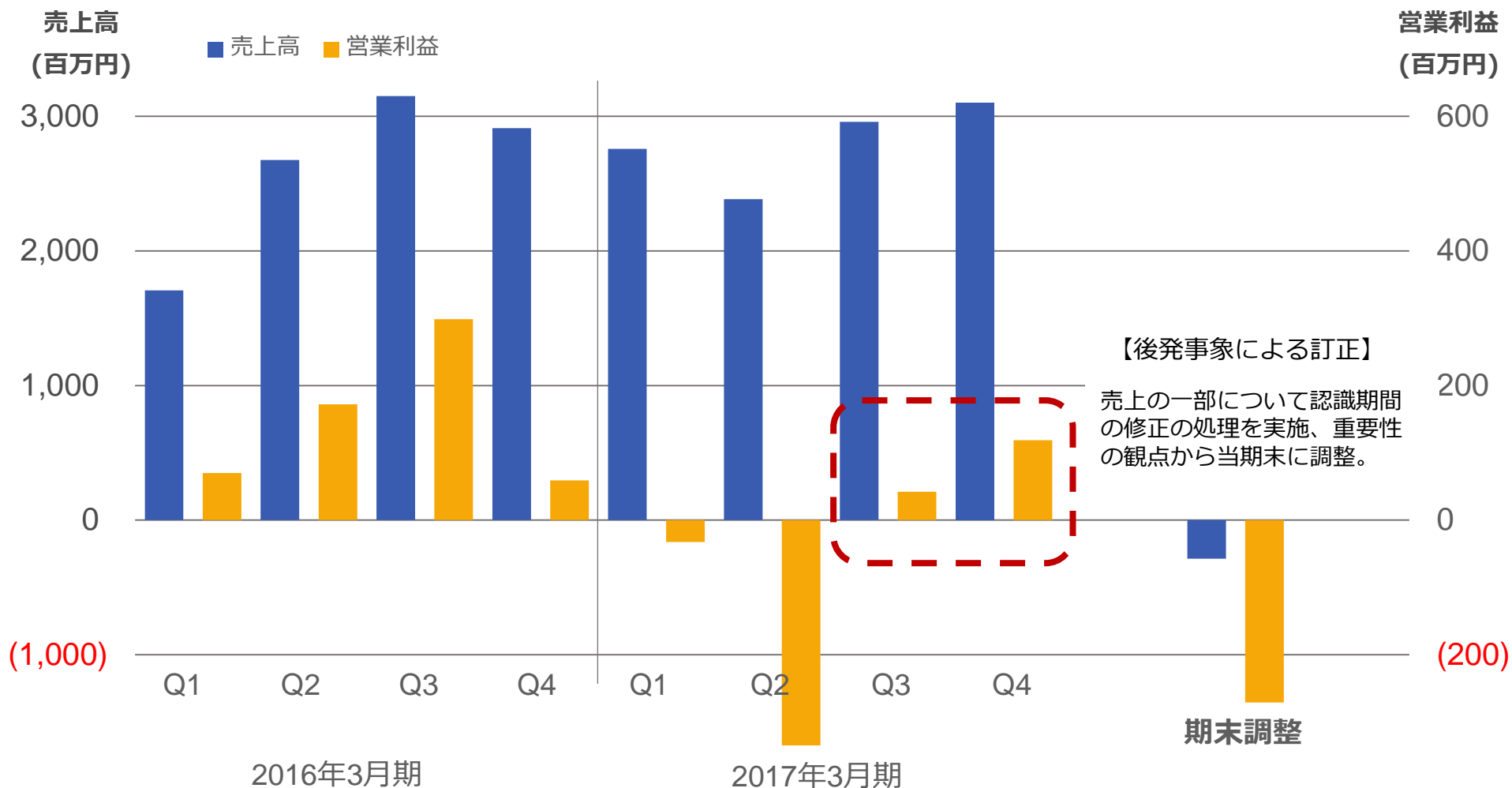
- 流動資産：Q3の転換社債発行による資金調達、Q4の米国における繰延税金資産の計上等により増加。
- 固定資産：Essential Discovery, Inc.の顧客関連資産及びのれん2.5億円がQ3に計上された一方、EvD, Inc.については償却が進み前年度末比ほぼ横這い。
- 固定負債：転換社債の発行により、前年度末比増加。2016年12月以降12.5億円が普通株式に転換され、減少に転じた。
- 純資産：転換社債の普通株式への転換により、自己資本が充実。

(日本基準)

大口顧客の売上減や米国の営業活動の減速により上半期は苦戦もQ3から**回復**



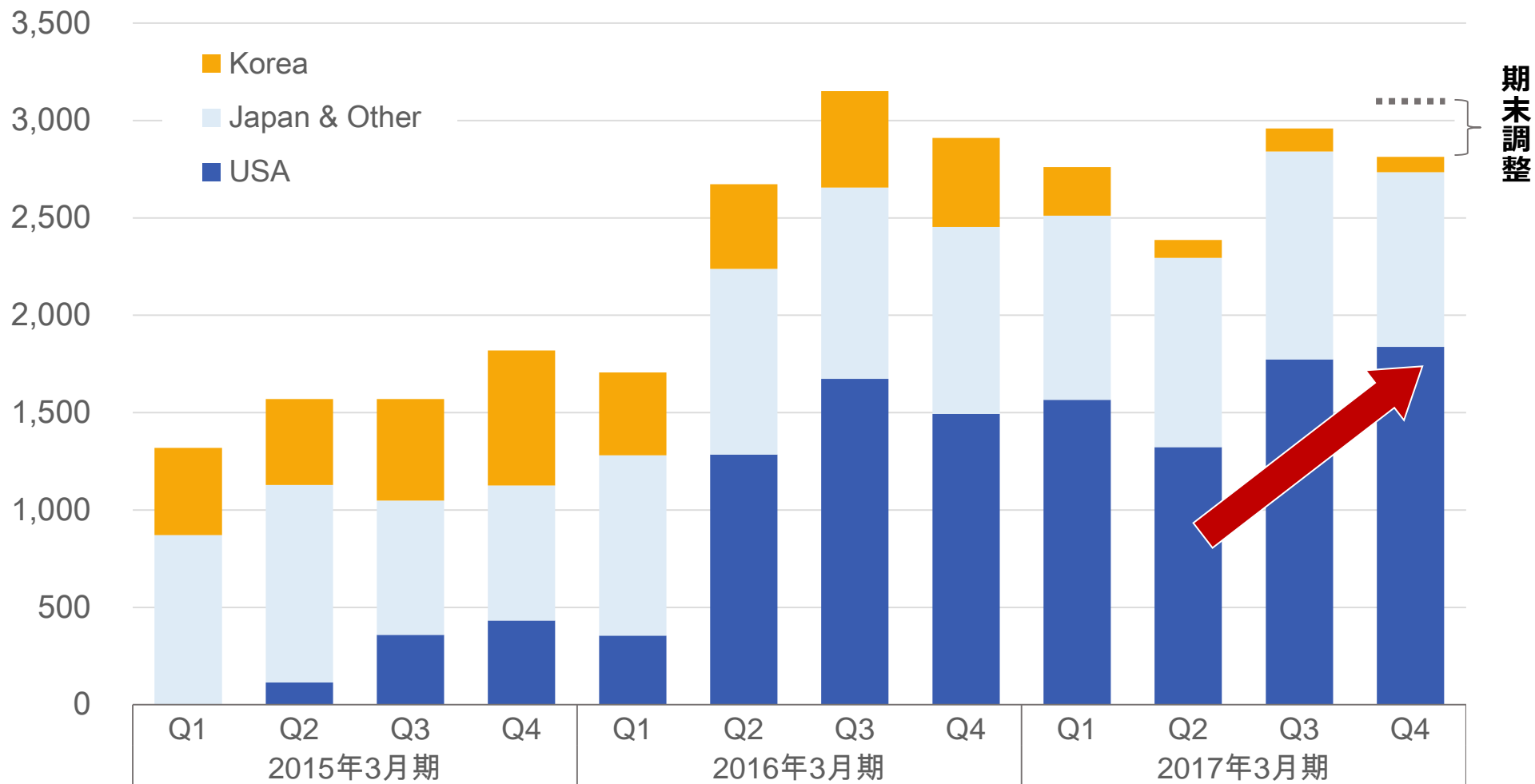
Q3から営業利益改善



※当社では今後のAI事業の拡大を考慮し、事業別の実態をより適切に表すことを目的として、2017年3月期第3四半期においてセグメントを見直しました。上記グラフは当該方法に基づき作成しております。

米国で**過去最高売上高**を更新

(百万円)

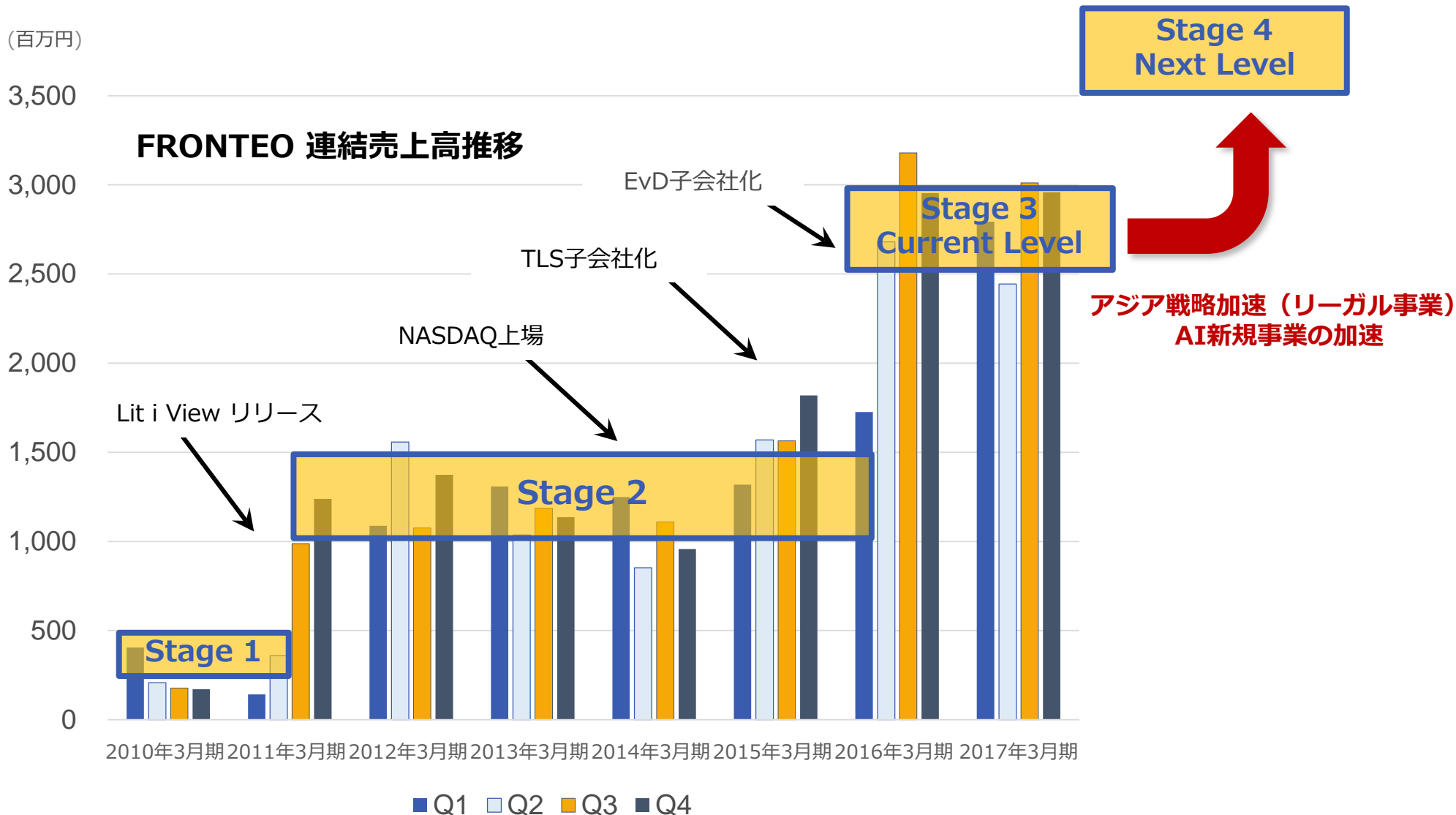


(単位：百万円)	2017年3月期	2018年3月期 ガイダンス
売上高	11,207	14,000
売上原価	6,873	
売上総利益	4,333	
売上比率	39%	
販売費及び一般管理費	5,540	
営業利益	-1,206	200
売上比率	-11%	1%
営業外収益(-)・費用(+)(Net)	48	
経常利益	-1,254	190
売上比率	-11%	1%
当期純利益	-948	90
売上比率	-8%	1%

リーガル事業：グローバル・クロスボーダー営業の充実に取り組むことで増収黒字化を計画

AI事業：ビジネスインテリジェンス・デジタルコミュニケーションの分野は、前年度に積み上げた導入事例を梃子に営業活動を加速させることで黒字化が望める段階に到達できる見込み
一方、ヘルスケア分野は、主として実証実験や臨床試験段階のプロジェクトが多く、利益を計上するまでには至らない見込み

配当予測：AIの事業基盤を盤石にし、さらなる成長を目指すため「配当見送り」とする予定





お問い合わせ先 株式会社FRONTEO
TEL: 03-5463-6337
Email: ir_info2014@fronteo.com

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。業界等における記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。